

# 第1回 新宮ダムの堤体挙動等に関する技術検討会 審議結果

日時：平成23年9月30日（金）13:50～16:45

場所：大阪コロナホテル 本館3階会議室 310号室

出席者：阪田憲次座長、鎌田敏郎委員、河野広隆委員、浅井敏彦委員代理、箱石憲昭委員、山口嘉一委員、渡辺博志委員

※芹澤富雄委員の代理で浅井敏彦委員が出席

- 資料：資料－1 議事次第等  
資料－2 現地状況について  
資料－3 堤体下流面の漏水について  
資料－4 洪水吐きゲート操作性について  
資料－5 スケジュール（案）について

## 審議内容

### 1. 検討会の設置について

- ・趣意書（案）及び規約（案）が委員に了承された。
- ・委員互選により、座長に阪田委員が選出された。

### 2. 洪水吐きゲート操作性に関わる現象について

洪水吐きゲート干渉音を発生させる現象については、その応急対策を既に実施しているところであるが、今後の対策について審議した。結果は次のとおり。

- ・洪水吐きゲート操作性に関連する堤体変位の原因は、これまでの調査結果からは堤体コンクリートの※アルカリ骨材反応とは特定できないため、引き続き検討を進める。
- ・洪水吐きゲート操作性に関連する堤体変位に関して、地山の変位の調査結果と堤体変位の調査結果との相関性を分析する。
- ・堤体や門柱の変位計測に加え、ゲート回転軸部（ゲートピン基礎）の変位計測も重要。
- ・当面の洪水吐きゲート操作性に関する対策の考え方として、より現実的なゲート側の対策案および堤体側の対策案について、さらなる具体化と見込める効果の整理を進める。

※アルカリ骨材反応：コンクリートにおける劣化現象の一つ。

コンクリートに含まれるアルカリ性の水溶液が骨材（砂利や砂）の特定成分と反応し、異常膨張やそれに伴うひび割れなどを引き起こす現象。

### 3. 堤体下流面からの漏水の現象について

平成23年6月に発生した堤体下流面の漏水については、その応急止水対策は行ったところであるが、堤体下流面全体の漏水状況も踏まえた今後の対策について審議した。結果は次のとおり。

- ・漏水箇所打継目面の平面的なひび割れ分布を把握するための追加調査が必要。

### 4. 今後のスケジュールについて

- ・第2回検討会は12月に実施することとした。

（以上）